

News Release

2009年1月19日

株式会社日本政策投資銀行

日東メディック㈱に対し、地域再生に資する事業向け融資を実施

～「地域再生支援利子補給金」の対象事業として全国初の融資実行～

株式会社日本政策投資銀行(社長:室伏稔、以下、「DBJ」という。)は、日東メディック株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役:中井龍)に対し、点眼薬製造の新たな拠点である第3製剤棟建設工事を対象とした融資を実行しました。本件は、内閣府による「地域再生支援利子補給金」対象事業として、全国初の融資実行となります。(全国初は、本件含め同日で2件あります。)

「地域再生支援利子補給金」とは、地方公共団体等が独自に作成し、国により認定された地域再生計画に基づく支援措置の一つです。地域再生に資する事業の実施者が金融機関から当該事業を実施するうえで必要な資金を借入れる場合に、国が当該金融機関を指定したうえで、予算の範囲内で、利子補給金を支給するものです。これにより事業者は低利での資金調達が可能となり、地域再生に資する事業の円滑な実施に繋がることが期待できます。

日東メディック株式会社(以下、「当社」という。)は、平成6年の設立以来、医薬品の中でも点眼薬を主体に事業展開を行ってきた製薬企業です。資金使途は、増加する需要や受託製造に対応するための製造能力の増強に加えて、ステロイド製剤と一般製剤の製造エリアの完全分離や、日本のGMP基準のほかFDA等世界レベルの製造基準に準拠する設計とし、当社技術力強化を図るものです。

富山県の医薬品生産金額は4,417億円(2006年)で全国第4位と、国内有数の生産規模を誇っており、また、富山県における産業分類別の生産金額においても医薬品製造業は10.1%(2005年)を占める主要産業となっています。本件投資は、富山県の地域再生計画の「元気とやま」ものづくり産業活性化計画に定める「ものづくり産業」の一基幹業種である医薬品製造業の事業基盤の強化等に資するほか、当該地域の雇用機会の確保・増大にも繋がることが期待されることから、上記利子補給対象事業として認定を受け、全国で初めての融資実行となりました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による問題解決で、お客様の信頼を築き、豊かな未来をともに実現していきます～」に基づき、今後も富山県の重点産業の一つである医薬品製造業を含め、地域再生の推進に資する事業に対して協力していく所存です。

【お問い合わせ先】

北陸支店 代表 電話 076-221-3211